

秋田県  
よろず支援拠点能代・山本子育てグループ  
ちゅちゅ地域の子育て情報を発信  
子どもも親ものびのびと  
過ごせる居場所づくり

今後は自分たちの拠点を  
持ちたいです。  
寺子屋のような場所を  
作っていきたい!

## 地域の子育てママたちが求める情報発信を

能代・山本地域で子育て支援の活動を行う団体「能代・山本子育てサポートグループちゅちゅ」。乳幼児から未就学児の子どもを持つ親をターゲットに、育児に関する情報を発信、イベントの開催などを行っている。

代表を務めるのは立ち上げメンバーでもある秋田市出身の田中真理子さん。グループ設立の経緯についてお話を伺った。

「私は結婚を機に能代に引っ越してきました。子どもが小さかったときは、一緒に出かけられる場所やイベントの情報がほしかったのですが、そういった情報がまとまっているプラットフォームがありませんでした。この地域に住むママたちが求めている情報を集めて発信できればいいなと思い、平成27年に立ち上げました。」

実際に情報を集めて発信したり、小さな子どもが参加できるイベントを開催するようになると、頼れる人がいない中、一人で情報を探している方が多いという実態が見えてきたという。

## 情報の精度と発信力が高まるための取組を実現

これまで、SNSやホームページを通して情報発信を行ってきたというが、情報を収集し、掲載するという作業は日々仕事や子育てをしながら行うのはとても大変だったと田中さんは語る。運営を手伝ってくれる人はいるが通勤族が多く、定期的に人手不足となる問題も抱えていた。

令和7年春、田中さんは、よろず支援拠点コーディネーターが講師を務めた能代市主催の起業セミナーに参加。その際出会った参加者のうち数名が、ちゅちゅの運営に参画してくれることになった。そこから設立10周年としてフリーペーパーを創刊。今後は季刊誌として3か月に1度のペースで発行を予定している。また、コーディネーターからのアドバイスを基に、地域企業にスポンサーの依頼を行い、協賛金が集まるようになってきた。

「以前はボランティアでお願いするしかありませんでしたが、今は協賛してくださる企業のおかげで、少しずつですが謝礼を支払うこともできています。この地域の子育てが楽しくなるよう、続けていきたい。」と意気込みを語ってくれた。



たなか まりこ  
代表 田中 真理子

能代・山本子育てサポートグループ  
ちゅちゅ

〒016-0842  
能代市追分町4-26  
能代市勤労青少年ホーム内レターケース2  
<https://chuchunshiro.net/>



HP

▶活用事例  
秋田県よろず支援拠点

幅広い経営知識と高い専門性を有するコーディネーターが、相談者の課題を抽出把握して、課題解決を目指した提案に基づきチーム支援します。

【お問い合わせ】  
秋田県よろず支援拠点  
TEL. 018-860-5605



グループメンバーも参加者も子どもを連れてイベントへ参加。



長年開催されている「ちゅちゅりゆうす」。使わなくなった洋服やおもちゃなどを、参加協力金100円で譲るイベントだ。



地域と子育てがにつながる企画「みんなの居場所」を開催した様子。